

連続減、電炉鋼は1.1%増の221万5,000トンで10カ月連続の増となっている。鋼種別内訳では、普通鋼が0.9%減の741万2,000トンと2カ月連続の減、特殊鋼が1.6%増の218万2,000トンと11カ月連続の増と好調が続いている。

財務省が発表した5月の鉄鋼貿易統計によると、輸出(全鉄鋼ベース)は前年同月比4.0%減の349万9,000トンと9カ月連続して減少した。タイの政治混乱、中国の景気減速などが影響したとみられる。高炉ミルで定期修理が相次ぎ、輸出向けの生産余力が少ないことも影響した。一方、全鉄鋼輸入は前年同月比22.6%増の70万8,900トンと7カ月連続で増加した。前月比では6.9%減と2カ月連続で減少した。主要国・地域別輸出内訳は、アジア向けが前年同月比7.5%減の274万5,000トンで、このうち中国は6.9%減の48万7,000トン、NIE'sは7.3%減の96万7,000トン、ASEANが2.8%減の117万9,000トンとなっている。中東向けは26.3%減の11万7,000トン、ロシア向けが79.5%減の5,000トンと減少したが、自動車生産が好調な米国は41.0%増の20万3,000トンと増加した。輸入の相手地域別内訳は、アジアが同26.1%増の60万7,500トンで、このうち中国が79.1%増の15万5,900トン、NIE'sが17.4%増の42万3,200トン、ASEANが18.4%増の1万500トンだった。

◆電力多消費産業が経産相に要望書

鉄鋼連盟、鉄連特殊鋼部会、普通鋼電炉工業会、鋳鍛鋼会、新金属協会、日本金属熱処理工業会、日本鋳業協会、日本産業・医療ガス協会、日本ソーダ工業会、日本チタン協会、日本鋳造協会の11団体は5月27日に「電力多消費産業の事業存続のための緊急要望」を経産相に提出した。

11団体は、2013年6月に「電気料金値上げの影響緩和に関する緊急要望」を行なった時点で3電力が値上げしていたが、その後4電力が値上げを行い、さらに北海道電力が追加値上げの検討を表明したと指摘している。電力各社は震災以降、燃料費負担の追加によって企業体力が著しく損なわれており、さらなる追加値上げの恐れもあるとの懸念を示した。また、電力料金値上げに加え、円安や世界的なエネルギーコストの高止まりによって、各電力会社が電気料金に上乗せする「燃料調整額」についても、電力料金本体の上昇に匹敵する重い負担になっていると指摘している。

こうした中、電力多消費産業は倒産、廃業、事業撤退や生産拠点の海外移転、早期退職制度の実施による人員削減を余儀なくされる企業が続くなど、国内での事業存続の危機に直面していると強調している。政府は、2013年6月の要望に応える形で、予算拡大や要件の追加など省エネ補助金の充実や設備投資減税施策を講じているものの、これらの施策のみでは危機の回避は不可能であるとして、即効性のある追加対策の実施を強く求めた。

具体的には「原子力発電」については徹底的な安全確認を大前提に、円滑な再稼働に向けた環境を整備するよう要請し、「再生可能エネルギー固定価格買取制度」については競争原理が働く仕組みを導入してコストの低下を促すとともに、毎年度の買取量に上限を設け際限のない賦課金拡大を抑制するよう見直しを求めた。「省エネ投資支援施策」に関しては補助金の上乗せなど追加特例を講じるよう要請した。

◆中国企業 20位中 10社——2013年生産ランキング

世界鉄鋼協会(WSA)は5月に2013年世界粗鋼生産ランキングを発表した。それによると、ルクセンブルグのアルセロール・ミッタルがアルセロール時代の2002年以降圧倒的な首位を守っている。日本勢では新日鉄住金が前年同様2位、JFEスチールが順位を一つ下

げて10位となった。

ランキングの20位まででは、中国企業が10社と前年より1社増加した。増加した企業は渤海鋼鉄集団で、天津を拠点とする鉄鋼企業4社、天鉄集団、天津天鋼集団、天津鋼管集団、天津冶金集団が2010年7月に統合して発足した。前年ランキングで20位以下だった。また、河北鋼鉄集団が3位、宝鋼集団が4位と前年の位置を占め、武漢鋼鉄がPOSCOを抜き5位となった。江蘇沙鋼が前年同様7位、鞍山鋼鉄が首鋼、JFEを抜き8位に上伸した。その他、山東鋼鉄12位、渤海鋼鉄15位、馬鞍山鋼鉄17位、本溪鋼鉄19位と続く。ちなみに10年前の2003年のランキングでは、20位中の中国企業は宝鋼集団と鞍山鋼鉄の2社のみであった。前年20位以内にいた企業で2013年に20位以下となったのは、ロシアのセバスチールが20位から21位に、ドイツのティッセン・クルップが20位から28位になり、イタリアのリーバ・グループが18位から46位へと大きく順位を下げた。

表－1 2013年世界粗鋼生産ランキング(WSA)

(単位:100万トン, カッコ内は前年順位)

	鉄鋼企業	国	粗鋼生産量
1	(1) アルセロール・ミッタル	ルクセンブルグ	96.1
2	(2) 新日鉄住金	日本	50.1
3	(3) 河北鋼鉄集団	中国	45.8
4	(4) 宝鋼集団	中国	43.9
5	(6) 武漢鋼鉄集団	中国	39.3
6	(5) P O S C O	韓国	38.4
7	(7) 江蘇沙鋼集団	中国	35.1
8	(10) 鞍山鋼鉄集団	中国	33.7
9	(8) 首都鋼鉄集団	中国	31.5
10	(9) J F E スチール	日本	31.2
11	(11) タタ製鉄	インド	25.3
12	(11) 山東鋼鉄	中国	22.8
13	(13) U S スチール	米国	20.4
14	(14) ニューコア	米国	20.2
15	(-) 渤海鋼鉄集団	中国	19.3
16	(15) ゲルダウ	ブラジル	19.0
17	(16) 馬鞍山鋼鉄	中国	18.8
18	(17) 現代製鉄	韓国	17.2
19	(20) 本溪鋼鉄集団	中国	16.8
20	(19) エブラツ・グループ	ロシア	16.1
	世界粗鋼生産計		1,606.0

◆5月世界粗鋼生産、年率16億トン台到達

WSAが発表した5月の世界(65カ国)粗鋼生産は、前月比3.5%増、前年同月比2.2%増の1億4,118万トンとなり、前月比で2カ月ぶりの増、前年同月比で4カ月連続の増となった。中国が7,043万2,000トンと月間最高を更新し、65カ国計では3月に次ぐ高水準となり、年率で16億5,000万トンと初の16億トン台に到達した。

5月の65カ国の日産量は、前月比0.2%増と2カ月ぶりに増加した。中国は1.0%減と5カ月ぶりの減少だが、最高だった4月に次ぐ高水準だった。中国以外は1.4%増と2カ月ぶりに増加した。新興国の日産量は、韓国が前月比3.7%減と3カ月ぶりに減り、インドは横這い微増と3カ月ぶりの増、ブラジルは0.7%増と2カ月ぶりの増だった。先進国の日産量は、EU28が1.6%増、日本が3.8%増とともに2カ月ぶりに増え、北米は0.8%増と3カ月ぶりの増となった。1～5月の65カ国の累計生産量は6億8,423万トンで、前年同期比で2.4%増となり、中国は同比2.7%増の3億4,251万トンとなった。 □